

農園通信 11月

8月は平年の9.9%、10月は31.9%の降雨量、9月は平年並ながら後半は寡雨と乾燥傾向が強く、作物の生育にも大きく影響しました。

そうした中、学生がサツマイモを作付けた畑は乾燥が進んだところと進まなかつたところで収穫量に大きな差が生じました。一人で20kg超の芋を収穫した学生はどう持ち帰かえるかを思案し、中でも3.5kgと3kgの大物は持ち帰りを断念しました。そのサツマイモ畑は11月19日からの降霜で茎葉がすっかり枯れ、夏の様相から一変しました。



ダイコン組の作物も順調に生育し、11月下旬からはキャベツ、ブロッコリー、ダイコンの収穫が進んでいます。しかし、ダイコンの一部では9月下旬～10月に降水が少なく、乾燥した影響でアブラムシが多発し、生育が抑制されたものもあります。

昨年は柑橘、特に柚子が不作でした。今年は柚子、蜜柑、獅子柚子がたくさん実っています。蜜柑、柚子はシロップを作り、学生ののどを潤しています。



モズの高鳴きは前号で触れました。今でも盛んに梢の上でなわばりを主張しています。また、ジョウビタキも農園のあちこちで目にでき、足早に秋が過ぎ、冬を実感しています。

